

平成 22 年 5 月 10 日現在

研究種目：基盤研究（C）

研究期間：2007～2010

課題番号：19510260

研究課題名（和文）アメリカ合衆国の世界的覇権確立過程におけるキリスト教伝道の役割

研究課題名（英文）The Role of Christian Missions in the Process of the Establishment of the U.S. Global Hegemony

研究代表者

小檜山 ルイ（KOHYAMA RUI）

東京女子大学・現代教養学部・教授

研究者番号：70186782

研究代表者の専門分野：アメリカ社会史、女性史

科研費の分科・細目：地域研究・地域研究

キーワード：西洋史、東洋史、比較文化、キリスト教、伝道

## 1. 研究計画の概要

本研究は、アメリカ合衆国の世界的覇権の確立過程における、キリスト教の海外伝道の果たした役割を明らかにすることである。すでに日本についてある程度知識の蓄積があるので、比較の対象として、4年間で朝鮮伝道の研究を進めることを企図した。

1) 1884年にアメリカ人宣教師が朝鮮伝道を開始してから、1910年代に至るまでの時期の、ピョンヤンを中心とする朝鮮における伝道事業に関する資料収集。

2) 現地調査

3) 海外研究者との情報交換

4) 資料の検討

## 2. 研究の進捗状況

1) については、アメリカ、韓国においてほぼ収集できた。そのうち一部のものは、マイクロフィルムをデジタル化し、研究の便宜を大いに高めることができた。また、長老派の事業だけではなく、メソジストの事業に関する資料も購入できた。さらに、ジュネーブの WCC のアーカイブスより、エキュメニカルな立場に立つ世界伝道に関する資料を収集した。

2) については、韓国南部のテグを中心とする地域の現地調査を2008年度に行った。また、2009年度には初期の朝鮮伝道に大きな影響を与えた中国山東省の伝道に関する調査をすることができた。しかし、当初予定していた平壤での調査は政治情勢が不安定なため果たせていない。

3) は2007年度には、韓国の延世大学で開かれた第6回東北アジアキリスト教

歴史協議会国際大会に出席し、中国、韓国の研究者と意見交換を行うとともに、研究報告（小檜山および李）も行った。その成果は2009年に出版された本（下を参照）に収録された。2008年秋には日本に在韓国の研究協力者を招き、研究合宿を行い、集中的に北朝鮮のキリスト教について学習し、意見交換する機会を持った。2009年夏には、中国武漢で開かれた第7回東北アジアキリスト教歴史協議会国際大会に出席し、中国、韓国の研究者と意見交換を行うとともに、研究報告（小檜山および李）を行った。

## 3. 現在までの達成度

おおむね順調に進展している。

おおむね順調に進んでいるが、北朝鮮へのアクセスが思うようにいっていない。政治情勢が悪化するばかりのため。

## 4. 今後の研究の推進方策

本年5月には再び韓国の研究者を交えて、北朝鮮のキリスト教の研究会を開き、情報の補充を行う。また、本年は資料の検討に努力を傾注する予定である。

## 5. 代表的な研究成果

（研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線）

〔雑誌論文〕（計1件）

小檜山ルイ「新渡戸稲造再考—「帝国主義者」の輪郭」『思想』1018号（2009年2月）、121-149頁、査読有。

[学会発表] (計5件)

이성진 「帝国 · 近代 · 宣敎系学校 帝国日本の植民地主義와 崇實」 『한국교육사에서 종교와 교육의 관계』 韓國教育史学会 · 教育史学会、秋季學術大會、光州教育大學校、2009年11月30日 .

Kohiyama, Rui. “Modernity Nurtured in Mission Fields,” in the 7<sup>th</sup> International Conference of North East Asia Council of Studies of History of Christianity on August 24, 2009 at Central China Normal University, Wuhan, China.

Lee, Sung-jeon, “Christian Missionaries in Korea and the Japanese Colonial Power in the March First Movement Period: Focus on the Principle of Political Non-Intervention and Its Political Connotations,” in the 7<sup>th</sup> International Conference of North East Asia Council of Studies of History of Christianity on August 24, 2009 at Central China Normal University, Wuhan, China.

Kohiyama, Rui. “The Location of Mission Schools for Women in Meiji Japan: A Preliminary Exploration,” in the 6<sup>th</sup> International Conference of North East Asia Council of Studies of History of Christianity on Aug. 21, 2007 at Yonsei University, Seoul, Korea

Lee, Sung-jeon, “Empire, Modernity and Mission Schools: The case of Sungsil School and College in Pyongyang, Korea,” in the 6<sup>th</sup> International Conference of North East Asia Council of Studies of History of Christianity on Aug. 20, 2007 at Yonsei University, Seoul, Korea.

[図書] (計7件)

小檜山ルイ (共編著) 「女性と「帝国」」 『アメリカ・ジェンダー史研究入門』 青木書店、2010年、139-162頁。

Kohiyama, Rui. “No Nation Can Rise Higher than Its Women’: The Women’s Ecumenical Missionary Movement

and Tokyo Woman’s Christian College.” In Barbara Reeves-Ellington, Kathryn Kish Sklar, and Connie A. Shemo, eds., *Competing Kingdoms: Women, Mission, Nation, and the American Protestant Empire, 1812-1960*. Duke University Press, 2010, pp. 218-239.

Kohiyama, Rui. “Women’s Education at Mission Schools and the Emergence of the Modern Family in Meiji Japan.” In ang A. B. Jongeneel, Peter Tze Ming Ng, et.al., eds., *Christian Mission and Education in Modern China, Japan, and Korea*. Peter Lang, 2009.

Lee, Sung-jeon, ‘Empire, Moral Superiority and Mission Schools: The establishment of Sungsil School and College in early 20<sup>th</sup> Century Pyongyang, Korea’, in Jang A. B. Jongeneel, Peter Tze Ming Ng, et.al., eds., *Christian Mission and Education in Modern China, Japan, and Korea*. Peter Lang, 2009.

小檜山ルイ (共著) 『横浜開港と宣教師たち』 有隣堂、2008年、126-146頁。

李省展 「帝国・近代・ミッションスクール」 『帝国と学校』 昭和堂出版、2007年、227-263頁。

小檜山ルイ 「帝国のリベラリズム」 『帝国と学校』 昭和堂、2007年、297-335頁。